


レジメン名	CapeOX + Bmab		療法					
疾患名	切除不能・再発大腸癌							
【レジメン内容】								
商品名	一般名	略号	投与方法	1日投与量	Day1	Day8	Day15	
アバスタチン	ベバシズマブ	Bmab	点滴静注	7.5mg/kg	●	休	休	
オキサリプラチン	オキサリプラチン	L-OHP	点滴静注	130mg/m ²	●	休	休	
ゼローダ	カペシタビン	Cape	経口	2000mg/m ²	 Day1～14内服		休	
【1ケールの期間】								
* day1から次回day1までの期間:(21)日間								
Capeは2週間内服後、1週間休薬								
【投与方法】								
1) グラニセトロン点滴静注バック1mg/50mL + デキサメタゾン6.6mg 30分								
2) ベバシズマブ(7.5mg/kg) + 生理食塩液100mL (初回は90分かけて投与、忍容性良好ならば2回目60分投与、以降30分かけて投与)								
3) 5%ブドウ糖250mL + オキサリプラチン(130mg/m ²) 120分								
4) 5%ブドウ糖50mL 全開								
内服:カペシタビン錠(2000mg/m ²) 分2 朝夕食後 14日間 (day1夕～day15朝)								
【注意事項】								
・オキサリプラチンの配合変化として塩化物と配合することにより不安定となるため輸液は5%ブドウ糖を使用する。								
・ベバシズマブとブドウ糖溶液を混合すると力価の減弱が生じるため生理食塩液を使用する。								
・オキサリプラチンに対するアナフィラキシー様反応出現時は症状緩和のため、副腎皮質ステロイド剤の増量(デキサメタゾン20mg)、抗ヒスタミン剤の追加使用。もしくはレジメンの変更を検討する。								